

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎 I		トータルインテリア学科/ 1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	正木 香奈
授業の概要				
幅広い知識を身につけるため、1コマ1コマ盛り沢山の内容となっており、すぐに実践に生かせるように学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリア設計士に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、16年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
教科書等を使い、予習復習をしっかりと行う				
回	テーマ	内 容		
1	カーテンとレールについて	カーテンの種類・特徴・部分名称やレールの種類・部品・ 施工方法を理解する		
2	カーテンスタイルやローマンシェード・その他の窓装飾について	スタイル・ローマンシェード・ブラインド・ロールスク リーンの種類・特徴を理解する		
3	カーテンプランの作り方	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランの作 り方を理解する		
4~ 6	カーテンプランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランを仕 上げる		
7	光の種類や照明ランプについて	光の区別・単位・ランプの種類と特徴を理解する		
8	照明器具について	照明器具の種類と特徴を理解する		
9	照明プランの作り方	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランの作り方 を理解する		
10~ 11	照明プランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランを仕上げ る		
12	前期試験	前期試験の実施と授業の振り返り		
13	家具について	イスについて理解する		
14	家具について	机について理解する		
15	木造の基礎について	木造の基礎や地業について理解する		
16	木造の構造について	木造の軸組について理解する		
17	木造の壁体・開口部について	木造の筋かい・開口部について理解する		
18	木造の接合について	木造の継手仕口・接合金物について理解する		

回	テ ー マ	内 容		
19	床の下地と仕上材について	床の下地・仕上材について理解する		
20	壁の下地と仕上材について	壁の下地・仕上材について理解する		
21	天井・屋根の下地と仕上材につい	各部の下地・仕上材について理解する		
22	寝具(ベッド)について	睡眠とベッド [®] の関係・構造について理解する		
23	寝具(リネン)について	リネンの種類・ベッドスプレッドについて理解する		
24	後期試験	後期試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本 インテリア設計士テキスト		出席率 期末試験 課題・レポート 授業態度	10.0% 60.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎Ⅱ		トータルインテリア学科/ 1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	正木 香奈
授業の概要				
幅広い知識を身につけるため、1コマ1コマ盛り沢山の内容となっており、すぐに実践に生かせるように学習する				
授業終了時の到達目標				
専門的用語を理解し、インテリア設計士に合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		フリーランスのインテリアコーディネーターとして、16年間従事経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
教科書等を使い、予習復習を行う				
回	テーマ	内容		
1	人間工学の定義について	人間工学と人体寸法の基礎を理解しよう		
2	人体寸法の略算値	人体の大きさと重さ、作業域について理解しよう		
3	人間の行動特性について	ポピュレーションステレオタイプの意味について理解しよう		
4	人間工学的な家具①	快適な椅子の条件を理解しよう		
5	人間工学的な家具②	机の高さの求め方、ベッドの寸法を理解しよう		
6	人間工学的な家具③	マットレスについて理解しよう		
7	人間工学的な家具④	寝具について理解しよう		
8	空間の配置と規模の検討①	建築設計の高さ方向の寸法を理解しよう		
9	空間の配置と規模の検討②	住宅の平面寸法を理解しよう		
10	空間の配置と規模の検討③	動線計画を理解しよう		
11	前期試験前のまとめ	小テストの実施と解説		
12	前期試験	前期試験の実施と授業の振り返り		
13	モジュラーコーディネーションについて①	モジュラーコーディネーション、モジュールについて理解しよう		
14	モジュラーコーディネーションについて②	グリッド、畳の寸法について理解しよう		
15	生活場面の構成①	LDKについて理解しよう		

回	テ ー マ	内 容		
16	生活場面の構成②	L、D、Kそれぞれについて理解しよう		
17	バリアフリー①	バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解しよう		
18	バリアフリー②	高齢者に対するインテリア計画の配慮点について理解しよう		
19	バリアフリー③	車椅子の寸法と動作空間について理解しよう		
20	バリアフリー④	バリアフリー計画（エクステリア・玄関）について理解しよう		
21	バリアフリー⑤	バリアフリー計画（廊下・階段・浴室）について理解しよう		
22	リフォーム	リフォームの意義と種類について理解しよう		
23	後期試験前のまとめ	小テストの実施と解説		
24	後期試験	後期試験の実施と授業の振り返り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本 インテリア設計士テキスト		出席率 期末試験 課題・レポート 授業態度	10.0% 60.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎Ⅲ		トータルインテリア学科/ 1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	鵜籠 麻美
授業の概要				
建築、インテリア業界で使用される様々な材料及び各種エレメントについて理解する				
授業終了時の到達目標				
習得した材料の知識を生かした作品制作(修了制作)が出来るようになる インテリアコーディネーター試験対策				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	木材	木材の性質 木質系材料		
3~ 4	建築系材料	鋼材 コンクリート 機能材料		
5~ 6	塗料	塗料		
7~ 8	インテリアオーナメント	インテリアアート インテリアグリーン		
9	エクステリアエレメント	玄関周り 庭		
10	テーブルウェア			
11	ベッドウェア	ベッドリネン 枕 布団		
12	期末試験	期末試験 まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	10.0% 10.0% 20.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
色彩計画		トータルインテリア学科/ 1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	佐々木 和郎
授業の概要				
好き嫌いなどの感覚的な表現だけでなく、理論的・体系的に色づかいができる知識や技法を養い、あらゆるデザインのカラーコーディネートに生かせるようになる				
授業終了時の到達目標				
文部科学省後援「色彩検定3級」合格(6月検定) 3級合格者は11月検定で2級を目指す				
実務経験有無		実務経験内容		
有		広告代理店に19年半勤務 様々な企業の広告宣伝・販促計画の企画制作や運営管理の経験を活かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う				
回	テーマ	内 容		
1	授業の目的と進め方について 光と色の関係	可視光とは何か理解する		
2	PCCS三属性	有彩色と無彩色、色相・明度・彩度を理解する		
3	PCCSトーン	トーンについて理解する		
4	PCCS色の表示、PCCS色立体	色の表示方法について理解する 色立体の考え方を理解する		
5	小テスト	三属性、色立体、色名、トーン名の確認		
6	照明と色の見え方 三原色と混色	照明による効果と色の見え方を理解する 加法混色の三原色と減法混色の三原色を理解する 加法混色と減法混色について理解する		
7	色彩感情と色のイメージ	色から連想されるもの、受けるイメージについて理解する		
8	色対比	色の対比について理解する		
9	配色①、②	色相配色について理解する (同一色相・隣接色相・類似色相・中差色相・対照色相・補色色相) トーン配色について理解する (同一トーン・類似トーン・対照トーン)		
10	配色③	明度配色、彩度配色について理解する アクセントカラー・セパレーションカラー・グラデーションについて理解する		
11	眼の仕組み	眼の仕組みについて理解する		
12	前期末試験	試験・解説		
13	前期の復習	前期授業内容の確認		
14	ファッションの色彩	ファッション色彩(流行色・嗜好色等)について理解する		
15	インテリアの色彩、エクステリアの色彩	インテリア、エクステリアの色彩について理解する		

回	テ ー マ	内 容		
16	過去問題①			
17	過去問題①解答解説			
18	過去問題②			
19	過去問題②解答解説			
20	過去問題③			
21	過去問題③解答解説			
22	検定問題の解説			
23	インテリアにおける色彩計画	色彩がインテリア空間にどのような影響を与えるのか確認する		
24	後期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
色彩検定公式テキスト3級 配布プリント カラーカード		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	10.0% 30.0% 10.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
パース演習		トータルインテリア学科/ 1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	36回	0単位(72時間)	必須	土居 正明
授業の概要				
完成予想図の表現方法を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
インテリアデザインにおける透視図法(1点透視・2点透視)の技術習得 室内表現(家具・小物)、人物クロッキーの技術習得				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	自室の作図	現状での技術で制作、確認		
2~ 3	パースの基本	透視図について(1点透視・2点透視・3点透視)		
4~ 5	パースの基本	小物のパース 家具のパース		
6~ 7	パースの基本	インテリア空間		
8~ 10	パースの基本	インテリア空間(1消点パースグリッド) 楕円の復習		
11~ 24	インテリア設計士課題	インテリア設計士対策(過去問題課題、今年の問題課題)		
25~ 26	パースの応用①	さまざまな空間の作成(1消点)		
27~ 28	パースの応用②	さまざまな空間の作成(1消点)		
29~ 30	パースの応用③	さまざまな空間の作成(2消点)		
31~ 32	パースの応用④	さまざまな空間の作成(2消点)		
33~ 36	修了制作のパース制作	各自修了制作に取り組む		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	10.0% 10.0% 40.0% 40.0%	インテリア設計士 合格は成績への+ αに評価します 【準備学習】次回の 授業内容を踏まえて テキストを用

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎演習 I		トータルインテリア学科/ 1年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	鵜籠 麻美
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・インテリア設計士学科試験の試験対策 ・インテリアデザインに関する基礎知識の習得 				
授業終了時の到達目標				
インテリア設計士学科試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内 容		
1	インテリア設計士試験について インテリアデザイン論	インテリアデザインとインテリア設計士についての確認をし、空間構成及び住宅とインテリアについて理解する		
2	材料	木材、突板について		
3	材料	木質系材料について		
4	材料	石材、ガラスについて		
5	材料	石材、ガラスについてタイル、レンガ、金属材料について		
6	材料	タイル、レンガ、金属材料についてプラスチック、塗料・塗装について		
7~ 8	材料まとめ	プラスチック、塗料・塗装について		
9	構造・生産	建築の構造①		
10	過去問題			
11~ 12	構造・生産	室内造作と各部の名称 インテリアの構法		
13~ 14	法規・法令	インテリア設計関連法規・法令		
15~ 16	インテリアデザイン基礎	形と空間構成、色彩・表現方法		
17~ 22	過去問/解答解説			
23	まとめ			
24	前期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリア設計士テキスト 学科編 インテリア設計士テキスト 実技編 インテリアコーディネーターハンドブック (下)		出席率 授業態度 期末試験	10.0% 40.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IC基礎演習Ⅱ		トータルインテリア学科/ 1年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	土居 正明
授業の概要				
インテリア設計士の図面課題を中心に演習することにより、平面図、展開図、家具詳細図などの作図方法を会得する。				
授業終了時の到達目標				
インテリア設計士合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション 製図方法の確認	インテリア設計士実技課題の傾向と対策 (先輩の優秀作品より)		
2~ 3	平面図	平面図の作図(トレース)		
4~ 5	展開図	展開図の作図(トレース)		
6~ 7	家具図	家具図の作図(トレース)		
8~ 12	過去問トレース 今年度課題作図	エスキスからプラン~作図まで(パース含む)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリア設計士テキスト 実技編		出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 20.0% 70.0%	インテリア製図と 連動して授業を行 う。 【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて 内容に

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
造形演習		トータルインテリア学科/ 1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	48回	0単位(96時間)	必須	三好 里香
授業の概要				
図面上のコーディネートだけにとどまらず、実際のクロス、ファブリックに触れて、カラーコーディネート基礎、小道具を含めた実践力となるディスプレイ、ショウイングを身に着ける				
授業終了時の到達目標				
コンセプトイメージを、立体の色、形、テクスチャーとして組み立て、スタイリングとして表現することを習得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		インテリアコーディネーターとして従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
インテリア関係の雑誌をたくさん見ること				
回	テーマ	内容		
1~ 2	オリエンテーション	コンセプト作り、企画デザイン、ディスプレイの仕掛け方等、商空間デザインのプロセスを理解する		
3~ 6	アートフレーム	立体コラージュ コンセプトテーマに沿った、アートフレーム制作		
7~ 10	ミニブース	ツールの使い方を含めた立体スタイリングのノウハウ (テーブルコーディネート、ディスプレイ実習)		
11~ 14	ラッピング	ラッピングの基本の包み方3種を習得、と同時にペーパーやリボンのカラーコーディネート実習		
15~ 22	イメージディスプレイ(グループ制作)	ウィンドウをイメージしたスペースに、壁紙コーディネート、什器デザイン、ショウイングを含む空間ディスプレイのプレゼンテーション		
23~ 24	郊外学習	モデルルームまたは、商業空間を見学		
25~ 26	インテリアセラピー	ヒーリングカラー&素材の使い方		
27~ 32	アートクロック	フリーマーケット出店用 オリジナル時計のデザイン、制作		
33~ 34	郊外学習	住宅展示場の見学		
35~ 44	ウィンドウディスプレイ1/10モデル	1/10スケールのショップディスプレイのプレゼンテーション用模型制作		
45~ 46	カラーコーディネートフレーム	カーテン生地や、壁紙のカラーコーディネート実習として、フレームを制作		
47~ 48	プレゼンテーション	作品プレゼンテーション、まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	10.0% 30.0% 30.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
MAC演習		トータルインテリア学科/ 1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	佐々木 和郎
授業の概要				
Macintoshの基本操作や設定について学ぶ DTPの基本技術の習得				
授業終了時の到達目標				
1 Macintoshの基本操作を習得する 2 Illustrator及びPhotoshopの基本操作を習得する 3 イラストボードをデジタルで表現することが出来る				
実務経験有無		実務経験内容		
有		広告代理店に19年半勤務 様々な企業の広告宣伝・販促計画の企画制作や運営管理の経験を活かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う				
回	テーマ	内 容		
1	Illustrator及びPhotoshopの基本操作	作品例の紹介及びパネル・ツール・ワークスペース・レイヤーなどの基本的なソフトの使い方について		
2	Illustrator①図形や線を描く	新規ドキュメントからイラスト制作を行い保存までについて		
3	Illustrator②ロゴマークを作る	数値入力での作画・文字・色について		
4	Illustrator③その他の機能	便利なツールの使い方(ワークシートによる)		
5	Illustrator④その他の機能	便利なツールの使い方(ワークシートによる)		
6	Illustrator⑤ペンツール	トレース		
7	Illustrator⑥確認課題A	Illustratorの基本操作の確認		
8	Photoshop①写真を綺麗に加工する	レタッチの基本		
9	Photoshop②写真の切り抜きと合成	合成の基本		
10	Photoshop③着彩	線画の抽出から塗りの基本 スキャナーの使い方		
11	Photoshop④その他の機能	便利なツールの使い方(ワークシートによる)		
12	Photoshop⑤確認課題B	Photoshopの基本操作の確認		
13	前期の確認	IllustratorとPhotoshopの基本操作の確認		
14~ 15	フライヤーをつくろう	トンボや塗りだし、文字もアウトライン化やリンクなどDTPリテラシーについて		
16~ 17	実践課題 六本木デザイナーズフラッグコンペ	デザインからデータの提出まで		

回	テ ー マ	内 容		
18～ 19	実践課題 カフェのDM制作 MAP制作	ロゴの作り方 画像の配置とリンクについて		
20～ 24	ポートフォリオ制作	表紙のアイデア出し ページレイアウト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
これからはじめるIllustrator & Photoshop の本		課題・レポート 授業態度 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プランニング演習		トータルインテリア学科/ 1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	0単位(120時間)	必須	植村, 鶴籠, 正木
授業の概要				
スケール感を身に付け、インテリア空間を機能的かつ美しくまとめることができるようになる				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・前期は、オリジナルデザインのテナント店舗の空間を計画・提案できる ・後期は選択課題とし、より専門的な技術が身に付く 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<p>【植村】建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う</p> <p>【鶴籠】建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う</p> <p>【正木】フリーランスのインテリアコーディネーターとして、16年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う</p>		
時間外に必要な学修				
実在する空間を数多く見て、使って研究する 様々な情報を集める癖をつける なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける				
回	テーマ	内容		
1	コンセプトワークとは	コンセプトワークの進め方を理解する		
2	コンセプトワーク実習	写真から言葉を連想し、様々な角度から物事の考える力を身に付ける		
3~ 10	課題①自室のコーディネート	コンセプトワーク、簡易プランニング、コーディネートボード制作を通して、プランニングの一連の流れを理解する		
11~ 24	課題②物販店の提案	ヒアリング、コンセプトワーク、プランニング、コーディネートボード制作、模型制作、プレゼンテーション		
25~ 60	課題③修了制作	住宅のリフォームorディスプレイ製作のどちらかを選択し1年間の集大成となる作品制作(コンセプトワーク、プランニング、製作)を通してプランニングの基礎を身に付ける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コンパクト建築資料集成「インテリア」 建築・インテリア系雑誌全般		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 20.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インテリア製図		トータルインテリア学科/ 1年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	土居 正明
授業の概要				
製図の道具の使い方や製図の書き方の基礎を習得しながら図面を仕上げていく				
授業終了時の到達目標				
書く箇所の線の太さを意識しながら綺麗な線が書けるようになる 最終的に表示記号、平面図、展開図が書けるようになる インテリア設計士持込用の図面を作成できる				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	製図とは 三角スケールの使い方	製図の基本的知識 道具の使い方、線の書き方		
2	線の練習	線の練習 線の書き方、平行定規の使い方、定規の使い方		
3	線の練習	課題製作、提出		
4	表示記号	表示記号の書き方 扉、窓、仕上げ、材質の下書きと墨入れ		
5	表示記号	課題製作、提出		
6~ 12	インテリア設計士用図面作成	課題を読む エスキス 作図		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
インテリア設計士 実技編		出席率 課題・レポート 授業態度	10.0% 70.0% 20.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて、内容に 沿って予習を行 う。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
モデリング		トータルインテリア学科/ 1年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	植村 祐介
授業の概要				
モデルボードをメインの材料とし、その他の色々な材料を使って模型の基礎から応用までを学習する				
授業終了時の到達目標				
実物のミニチュアを制作することにより、3D感覚を養う 建築設計で作成した自分の作品を、実際に形にして確認する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
いろいろなものをたくさん見る				
回	テーマ	内容		
1	道具・材料	道具・材料の説明 カッターの使い方・切り方等		
2	立方体	立方体の作成 ～切り方、一枚残し、糊付け		
3	平屋住宅(建築)模型の作り方	模型図面と模型製作 開口部の作り方		
4	平屋住宅模型の製作	模型の製作		
5	家具の製作	家具の製作方法と製作		
6	敷地・植栽の製作	敷地や植栽等の製作方法と製作		
7~ 9	2階建住宅の模型	複層階の建物の模型の作り方		
10~ 12	プランニング演習の模型製作	プランニング演習でエスキスしたプランの模型製作		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 20.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
CAD演習		トータルインテリア学科/ 1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位(48時間)	必須	植村 祐介
授業の概要				
JWWの基本操作の習得				
授業終了時の到達目標				
JWWを使いこなし、作図できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	オリエンテーション			
2	JWWとは	JWWについて インストール		
3	設定	標準設定		
4	基本操作①	左右のクリックの違い		
5	基本操作②	拡大・縮小・移動		
6	基本操作③	ドラッグ		
7	コマンド①	線コマンド		
8	コマンド②	円コマンド		
9	コマンド③	文字・寸法コマンド		
10	コマンド④	消去コマンド		
11	コマンド⑤	移動・複写コマンド		
12	コマンド⑥	伸縮・コーナーコマンド		
13	コマンド⑦	複線コマンド		
14	コマンド⑧	ハッチ・図形コマンド		
15	寸法の決まった図をかく①	簡単な図形の作図		

回	テ ー マ	内 容		
16	寸法の決まった図をかく②			
17	図形を開き、加筆・印刷しよう①	図形ファイルからの作図		
18	図形を開き、加筆・印刷しよう②			
19～ 24	練習問題			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
はじめて学ぶJW_CAD(エクснаレッジムック)		出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 20.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Office演習		トータルインテリア学科/ 1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	山村 孝子
授業の概要				
一般的に最もよく使われるWord・Excel・PowerPointの基本機能を学習する				
授業終了時の到達目標				
Word・Excel・PowerPointの基本的な機能を理解し、就業後も活用できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		大学、専門学校、職業訓練校、企業研修他 Office講師 9年		
時間外に必要な学修				
毎時間ごとの課題を翌授業までに提出				
回	テーマ	内 容		
1	あいさつ文 段落書式 箇条書き インデント・タブ	あいさつ文の挿入方法 段落に対しての書式の設定方法 箇条書きの設定方法 インデントやタブの設定方法		
2	写真や図形を挿入した文書の作成と ドロップキャップ	写真や図の挿入方法 レイアウトの設定の仕方		
3	表やグラフを挿入したビジネス文書 の作成と印刷設定方法	表の作成とグラフと編集ができる 印刷時の設定ができる		
4	複雑なレイアウトの文書の作成 宛名書きを効率的に行う	改ページ・セクション区切り・段組みの設定ができる 差し込み印刷の設定ができる		
5	演算式を利用した数式 関数を利用した数式	演算記号を使っての計算ができる 関数(SUM、AVERAGE、MAX、MIN)を使用して計算ができる		
6	関数のネストについて(IF関数、 VLOOKUP関数、AND関数、OR関数)	関数のネストができる(IF関数、VLOOKUP関数、AND関数、 OR関数)		
7	グラフの作成・編集 入力データに制限をかける	グラフ(複合グラフ含む)の作成・編集ができる 入力規則の設定、編集ができる		
8	条件に従って並べ替えを行う テーブルの作成	並べ替え・フィルターを理解する テーブルの作成と編集方法を理解する		
9	スライドの作成・文字の入力・編集	スライドの作成の仕方とレイアウトの編集ができる 背景の設定ができる		
10	スライドに効果をつける プレゼン資料の印刷	オブジェクトの動きとスライドの切り替え効果の設定がで きる		
11	発表資料作成	自分のテーマを決め、PowerPointを使用して作品を作る (スライドは5枚~10枚)		
12	発表資料仕上・発表	作成したPPの作品発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Office 2016 for Macマスタースタック		出席率 授業態度 実習・実技評価	50.0% 20.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
スペースデザイン演習 I		トータルインテリア学科/ 1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	鵜籠 麻美
授業の概要				
習得してきた知識と技術を活かして、実在空間についてプランから制作及び設営まで手順を理解する様々な課題を通してスケール感や空間構成能力を養う				
授業終了時の到達目標				
クラス全員のグループ制作と捉え、各自の役割を理解し、責任を持って計画的に作業を遂行することで、完成度の高い空間づくりができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1~ 2	名作椅子の模型製作①	選択 図面制作		
3~ 5	名作椅子の模型製作②	模型制作		
6	プレゼンテーション			
7	6階ミニディスプレイの提案①	出題 実測		
8~ 11	6階ミニディスプレイの提案②	エスキス~図面・模型		
12	プレゼンテーション			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 40.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		トータルインテリア学科/ 1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	植村 祐介
授業の概要				
言葉で理解するだけでなく、実践を通してコミュニケーション能力を上げる				
授業終了時の到達目標				
企業が求める社会性とコミュニケーション能力を持つ人材となる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
常に周りに目を向ける				
回	テーマ	内容		
1	自己紹介、目標設定	グループでコミュニケーション 効果的な自己紹介の方法		
2	コミュニケーションの基本	コミュニケーションの定義 「話すこと」「聞くこと」		
3	コミュニケーションの基礎練習	挨拶、お辞儀等		
4	コミュニケーションの基礎練習	発声・発音、言葉遣い等		
5	コミュニケーションの基礎練習	正しい日本語		
6	コミュニケーションの基礎練習	プレゼンテーション		
7~ 9	コミュニケーションの基礎練習	グループディスカッション		
10~ 11	コミュニケーションの基礎練習	プレゼンテーション		
12	目標設定			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コミュニケーション技法		課題・レポート 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて、内容に 沿って予習を行 う。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		トータルインテリア学科/ 1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	植村 祐介
授業の概要				
言葉で理解するだけではなく、実践を通してコミュニケーション能力を上げる				
授業終了時の到達目標				
企業が求める社会性とコミュニケーション能力を持つ人材となる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
常に周りに目を向ける				
回	テーマ	内容		
1	就職活動について			
2~ 3	履歴書作成	下書き~清書		
4~ 6	自己PR作成	下書き		
7	企業研究	自己分析を通して将来を見据え、希望職種を絞る		
8~ 11	ポートフォリオ制作	身に付けたPC技術を利用し、就職活動用ポートフォリオの作成をする		
12	プレゼンテーション			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
コミュニケーション技法		課題・レポート 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて、内容に 沿って予習を行 う。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
総合デザイン I		トータルインテリア学科/ 1年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	鵜籠, 植村
授業の概要				
トータルインテリア学科1, 2年生を混成の班に分け、コンセプトワーク、プラン、プレゼンという過程を経て制作物を作成する				
授業終了時の到達目標				
1、2年で協力的クオリティの高い制作物を作る 2年生はコンセプトワークや作業の手順等を伝えるとともに1年生の「良さ」を引き出し成果物に反映させる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【鵜籠】建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う 【植村】建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	班分け 課題発表①	班分けを発表し、アイスブレイク 課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン		
2~ 4	プレゼン 制作	各班のプランをプレゼン 制作(全員)		
5~ 11	課題発表②	課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン 企画プレゼン(教員了承後)		
12	完成プレゼン	完成プレゼンテーションを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		実習・実技評価 授業態度 出席率	40.0% 30.0% 30.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
総合デザインⅡ		トータルインテリア学科/ 1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位(24時間)	必須	鵜籠, 植村
授業の概要				
学年の枠を超えたグループでの取り組みを行うことにより、コミュニケーション能力と人間力の向上を目指す 与えられた空間・予算内で常に新しい表現で感動を与えるモノを作る				
授業終了時の到達目標				
グループ制作を通して企画・制作・発表を行う中で積極的に人間関係を構築し、社会性や自主性を養い自己表現することが出来る デザイン展の空間トータルデザインを考える				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【鵜籠】建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う 【植村】建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる				
回	テーマ	内容		
1	グループ顔合わせ 目標設定 課題発表①	頭の柔軟体操 半期の目標設定		
2~6	プランニング プレゼン 制作	テーマに沿った企画を考え意見交換を行いまとめる プレゼンテーション後、各班で制作 ※予算の感覚を身に付ける		
7	課題発表②	デザイン展に向けた企画・提案 展示方法・学科としてできることについて		
8	プレゼンテーション	企画発表		
9~12	制作	素材、制作方法について話し合い・試作をしながら進める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般		実習・実技評価 授業態度 出席率	40.0% 30.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
作品展示計画 I		トータルインテリア学科/ 1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	31回	0単位(62時間)	必須	植村 祐介
授業の概要				
各自オリジナルなプレゼンテーションを行う為の準備 様々なアイデアでデザイン展を盛り上げる				
授業終了時の到達目標				
限られた時間で、自分自身の考えを相手に伝えるプレゼンテーションが出来るようになる 制作を通して、協調性・積極性等の人間力を身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		建築士として8年の実務経験 経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 16	修了制作の制作			
17~ 19	プレゼン練習			
20~ 23	プレゼン			
24~ 31	デザイン展制作/設営	デザイン展' 21		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート 授業態度 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	次回の授業内容を 踏まえて、提示課 題を用いた予習を 行う。